

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0867

住 所 川崎市川崎区扇町12-1

氏 名 川崎天然ガス発電株式会社

代表取締役社長 二股 茂晴 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎天然ガス発電株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町12-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	F	電気・ガス・熱供給・水道業
	中分類	33	電気業
主たる事業 の内容	天然ガスを原料とした発電		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	487,895	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021 年度)	(2022 年度)	(2023 年度)	(2024 年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 42,352	(実) 39,536	(実) 31,953	(実) 26,466	(実) 42,218
	(調) 42,368	(調) 39,540	(調) 31,773	(調) 26,466	(調) 42,234
削減率		(実) 6.6 %	(実) 24.6 %	(実) 37.5 %	(実) 0.3 %
		(調) 6.7 %	(調) 25.0 %	(調) 37.5 %	(調) 0.3 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量				原単位等の単位	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値
	(2021 年度)	(2022 年度)	(2023 年度)	(2024 年度)	
排出量原単位等の値					
活動量の値					-
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	2022年度は部分負荷運転やDSSが増えたため、発電ユニットの運転時間が減少（燃料使用量が減少）し、基準年度に比べ温室効果ガスの排出量が減少した。 なお①構内照明のLED化、②循環水ポンプの省エネコーティングを実施しており、それぞれ①約12.6トン/年、②約71.3トン/年の継続的なCO2削減が見込まれる。	
第2年度	2023年度は点検・補修による停止期間が長かったことや部分負荷運転・DSSが多かったことから、燃料使用量が減少し、基準年度に比べ温室効果ガスの排出量が減少した。 なお構内照明のLED化を実施しており、約7.3トン/年の継続的なCO2削減が見込まれる。	
第3年度	2024年度は点検・補修による停止期間が長かったことや部分負荷運転・DSSが多かったことから、燃料使用量が減少し、基準年度に比べ温室効果ガスの排出量が減少した。 なお構内照明のLED化を実施しており、約3.1トン/年の継続的なCO2削減が見込まれる。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		ユニットの運転時間減少は外部要因によるものの、大幅なCO2削減に繋がった。循環水ポンプの省エネコーティングは継続的なCO2削減に寄与し、且つ構内照明のLED化も着実に推進出来ていると評価している。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		構内照明のLED化の継続

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>1. 所内蛍光灯のLED化 所内蛍光灯のLED化を推進し、構内照明電力使用量を削減する。</p> <p>2. 循環水ポンプの省エネコーティング 循環水ポンプの省エネコーティングを実施し、温室効果ガス削減の目標とする。</p>
<p>第 1 年度</p>	<p>1. 所内蛍光灯のLED化 現場の蛍光灯60灯と、事務棟の蛍光灯136灯のLED化を実施した。これにより合計34,365kWh/年の消費電力削減となり、今後約12.6トン/年の継続的なCO2削減が見込まれる。</p> <p>2. 循環水ポンプの省エネコーティング 循環水ポンプの省エネコーティングを実施した。これにより195,000kWh/年の消費電力削減となり、今後約71.3トン/年の継続的なCO2削減が見込まれる。</p>
<p>第 2 年度</p>	<p>1. 所内蛍光灯のLED化 現場の蛍光灯170灯のLED化を実施した。これにより合計19,696kWh/年の消費電力削減となり、今後約7.3トン/年の継続的なCO2削減が見込まれる。</p>
<p>第 3 年度</p>	<p>1. 所内蛍光灯のLED化 所内蛍光灯のLED化を実施しており、約3.1トン/年の継続的なCO2削減が見込まれる。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)</p>	<p>構内照明のLED化は着実に推進出来ていると評価している。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	42,352 t-CO ₂	39,536 t-CO ₂	31,953 t-CO ₂	26,466 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	869,438 KL	748,057 KL	636,854 KL	487,895 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
川崎天然ガス発電株式会社	川崎市川崎区扇町12-1	42,352	39,536	31,953	26,466

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度